

トピックスいわて

母校の名誉と栄光をかけて 若人の夏・岩手総体開く

若人のスポーツの祭典、全国高校総合体育大会・99岩手総体が八月一日、照りつける太陽のもと、開幕した。皇太子殿下・同妃殿下をお迎えして北上陸上競技場で開かれた総合開会式には、選手や役員など約二万九千人が参加。選手



を代表して石川哲蔵選手（黒沢尻北）が「母校の名誉と栄光をかけ、力の限り競技することを誓います」と宣誓。式後には県内の高校生による勇壮な公開演技が約一万五千人の観衆を魅了した。

良質な住空間 実現への提案さまざま

住まいの最新情報を提供する「99いわて住宅祭」が八月二十七日から二十九日の三日間、盛岡市アイスアリーナで開催された。



今年のメインテーマは「われら地球家族」。会場には五十五の企業・団体が出展し、潤いのある住空間の実現、地球環境や高齢化社会に配慮した住宅の在り方について提言した。来場者は、最新の住宅や設備機器の紹介、住宅購入の際の融資に関する情報、インテリアやゲーティング商品の紹介などを受け、家づくりの参考としていた。

市町村での円滑な対応を支援 県が地方分権一括法の説明会

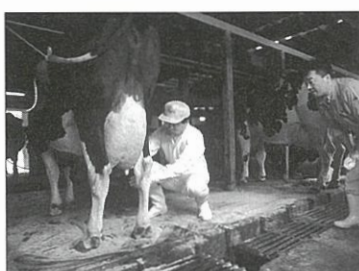
県は十二月定例県議会に地方分権一括法に伴う条例案の提案を目指しているが、市町村での円滑な対応を支援するため、八月五日、盛岡地区合同庁舎で同法に関する説明会を開いた。説明会には市町村長や議長、県の部局長、地方振興局長ら約百六十人が出席。自治省



の佐藤文俊地方分権推進室長らが、地方公共団体の事務の新たな考え方、国の関与の見直し、係争処理の仕組み、市町村行政とのかわりなどを解説した。

増田知事が酪農家と懇談 バターづくりや搾乳作業も体験

増田知事と酪農家との懇談会が八月二十六日、田野畑村の田河原牧場で行われた。知事は地元の小學生十六人とバターづくりに挑戦した後、「機械を使つての乳搾りは初めてで難しい」と言いながらミルカーで乳搾りを体験。その後、



六組の酪農家夫婦と懇談し、「本県農業は米、野菜とともに乳製品も主力。田野畑村では環境を生かして酪農に取り組んでいる。安全で素晴らしい岩手の乳製品をPRしていきたい」と激励した。

家族連れで岩手山の自然満喫 岩手山麓サマーフェスティバル

岩手山の火山活動に伴う風評被害を吹き飛ばそうと「岩手山麓サマーフェスティバル」が八月二十一日から二日間の日程で、西根町の岩手山焼走り国際交流村をメイン会場に開かれた。雄大な自然の中、同町の子どもたちによる平笠



田植え踊りなどが披露され、県内外からの来場者を歓迎。二十一日は、キャンプファイヤー、星空観望会、二十二日は、焼走り熔岩流での自然観察会やゲーティング教室が行われた。

男女共同参画社会実現をめざし いわてさわやかフォーラム

男女共同参画社会の形成をめざそうという県主催の「いわてさわやかフォーラム99」が八月二十七日、盛岡市都南文化会館で開かれた。女性を中心に約八百人の参加者たちは、リング農家の松本直子さん（盛岡市）、本県初の保健士の佐々木亮平さん



（久慈保健所）、縫製会社工場長の熊谷栄子さん（普代村）の三人の意見発表やシンポジウム、伊藤公雄大阪大教授の講演を通して、男女共同参画の在り方を考えた。